

少許し念の上何し方少一所

少會合と遊其言有志家指

陸局多涉判うゝあは海警

至極存先官下あは為意

何うらま同存あは海在好迷

拜謁うゝあは多預うゝあは譯うゝあは

元来兩伯うゝあは政事上感

多うらま少意見あは偏異あは所

有うらま之あは存あはしあは申あは得あは共あは民あは守

教うらま育あは子あは世あは業あは少あは新あは成あは一あは点

至うらまりあはテあは直あは毫あは毛あは隔あは異あはセあはレあはテあは吸あはハ

百うらまああはぬあはレあはテあは察あは本あははあは且あは朝あはニあは在あはテ

西伯うらま丈あは心あは必あはスあは吾あは人あは之あは奉あはテ

レあはンあはバあはセあはーあはラあは下あは不あはセあはレあはテあは下あは確あは信あはは

りあは少あは老あは顧あは慮あはをあは吸あはテあは然あは

相うらま顧あはりあは年あは一あは十あは然あはニあは兩あは伯あはニあは只

少うらま積あは成あはとあはるあは止あはコあはラあはスあは非あは常あはのあは

贊うらま翊あはふあはをあは少あは生あはをあは於あはテあは未あは欣あは至

實うらまニあは手あは舞あはヒあは且あは踏あはムあは夜あはヲあは於

少積成多なる止コトラス非常の
贊ヲ翅ヲふカ少生ヲ於テ夫レ欣ニ至
實ニ手ヲ舞ヒ足ヲ踏ム夜ヲ於テ
其レ程ニ依リ願ク味上高伯モ
各ガ途ニ斗ニ賜ズ寧ニ是レ答
於上高伯中自即内カ又何
所カ餘ク公然タリ抑テ撰
其レ有リ高家ノ招キ龍ヲ
切ラ之ヲ契勵成下少生ヲ也
片時モ忘ル青年淘治
事業ヲ遂ケ而伯恩思
高天厚地只奉在也
所存道也身宗
教レ教育ニ未カ由時然
政事上ニ有之深ク理由
之有之也澤ニ也テ督寫也
憂國之志諸事忍堪
致シ他日斗耳敢テ
意ヲ以事上ニ留ル也ニ目夜
息思苦心持来ノ青年

息ヲ以事上ニ留ルニラス日夜
息思苦心持来青年
昔薰陶ニ新日本構造良
培養育計ニ地ニ一箇人良
社会改良政事上改良地
百般改良ヲ熱望スル上良以
謂テ伏テ願フ嘗下大度
幸ニヒツキテ願フ容サセテ兩伯
所會合リテテ亦承諾アリテ
萬一嘗下ニ於テ向テ差支
ナリテ承諾トシテテ望ニ直ニ
丹上伯ニ趨ク右長今合身
請願ニハ有テ閣下見
如何ヲ奉伺テ付也敬

七月十日
新島襄

大隈伯殿
閣下

すの由諾とらむて望の直と
丹上伯。趨る在冬令身
請願うはる古閣下見
如何う奉伺ふのけ也警

七月十日
新島襄

大隈伯殿

閣下

あるさまは指揮ラ待チ糸
趨るはる古閣下見
向ふもあ。此も察古文
お認め也古兩伯は令言
くらに付成るるは是を
少まナリ冬。徳富氏より却合
は身は呼まると仰付る
おふくもお福とる詳細
ま申上ら及お見矣